

小城市立岩松小学校
学校だより 第12号



岩松小だより

令和7年6月20日発行
発行者 校長 真子靖弘

学校評議会・セーフティーネット会議

先日開催されたフリー参観日には、**第1回学校評議会**と**第1回岩松校区セーフティーネット会議**も併せて実施しました。学校運営や子どもの安全確保について活発な意見交換が行われ、多くの貴重なご意見をいただきました。



これらのご意見を真摯に受け止め、今後も子どもたちが**安心して学び、心豊かに成長できる環境づくり**に、これからも全力で取り組んでまいります。

〈学校評議会及びセーフティーネットでの主な意見等〉

■**学校教育目標について**：学校教育目標に掲げられている「**自律・尊重・挑戦**」の3つのキーワードは素晴らしいとの評価をいただきました。これらの目標は、子どもたちだけでなく**教職員にとっても重要**であり、**教師が子どもたちの手本となるよう行動することの大切さ**をご指摘いただきました。



■**学力向上について**：学力調査の結果について、子どもたちが**問題の解き方に慣れていない**ことも一因ではないかとのご指摘がありました。過去問や「たつじんテスト」など、**多様な問題に挑戦させる**ことで学力向上に繋がるのではないかとのご提案をいただきました。また、学力検査の結果は、子どもたちの学習成果であると同時に、**教職員の通知表**でもあるという視点から、日々の授業改善に結果を活かすことの重要性が改めて確認されました。

■**交通安全について**：学校前の**信号が赤でも自動車**が**通過する事例があった**との報告を受けました。横断歩道の信号が青であっても、必ず左右を確認して渡るよう、子どもたちへの指導を再度徹底してほしいとの要望がありました。



6年生企画あいさつ運動に大物2人が参加！

6/16(月)の朝、**ウイントス君**と**高橋義希さん**があいさつ運動に参加してくれました。これは、あいさつ運動をさらに盛り上げたいという**6年生の熱い思い**から企画され、**実現**したものです。

この日のために、6年生は**チラシ**を作成したり、

サガン鳥栖の応援歌を下級生に教えたりと、様々な工夫を凝らして全校の子どもたちを巻き込んでくれました。その主体的な姿は大変嬉しく、学校生活をより楽しくしようとする気持ちが伝わってきました。

また、校長企画第二弾として募集した**あいさつ運動の旗づくり**では、**1年生、4年生、6年生**が積極的に手を挙げ、素敵な旗を制作してくれました。

子どもたちが**自ら考え、行動する姿は、学校を活気づける大切な力**です。これからも、子どもたちが主体的に学校生活を豊かにしていくための機会を大切にしていきたいと思います。



登校時の心温まる出来事 6年生の思いやりと主体性

先日、朝の登校時に、私は心温まる光景を目にしました。泣いている1年生の女の子に寄り添ったのは、**挨拶運動をしていた6年生の女の子**でした。

彼女はただ「どうしたの？」と声をかけるだけでなく、かがんで目線を合わせ、丁寧に話を聞いていました。女の子が話し終わると、今度はトラブルの相手だという別の子どものところへ行き、その子の言い分にもじっくり耳を傾けていたのです。

驚いたのは、彼女が教師に任せることなく、**自分で調停役をしっかりと務めていたこと**です。子ども自身がトラブルを解決しようと努める姿は、本当に頼もしく、微笑ましい限りでした。そのおかげで、1年生の女の子も落ち着きを取り戻し、笑顔で教室に向かって行きました。



また別の日のこと。1年生が登校中に転び、膝をすりむき泣きながら登校してきました。すると、挨拶運動をしていた別の**6年生の女の子が1年生に話しかけ、保健室まで連れて行ってくれました**。

これらの出来事を通して、**子どもの主体性**、そして**上級生が下級生を思いやる温かい心**が強く感じられました。6年生の素晴らしい対応に、私も清々しい気持ちになり、最高の1日のスタートを切ることができました。本当に、6年生、すごいです！